

業績のご報告

Performance Report

当第2四半期連結累計期間の業績概要

当上半期における内外経済は、欧州危機の長期化、中国の景気減速、長引く円高など引き続き不透明なまま推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、コンシューマは1,070億円となりました。時計は「G-SHOCK」、「Baby-G」、「EDIFICE」といったブランドが、北米やアジアなどの海外で好調に推移し増収となりました。また、女性向けメタルアナログウォッチ「SHEEN」が国内外で売上を拡大しました。電子辞書は「エクスワード」シリーズの販売が堅調に推移し、引き

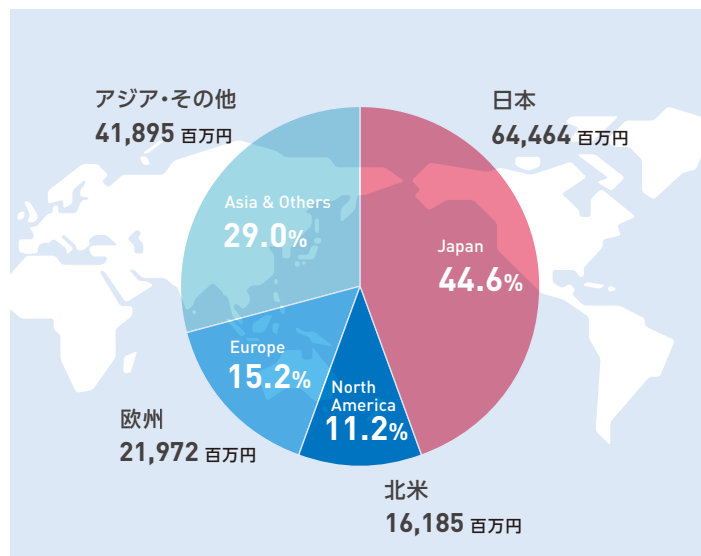
続き、国内でナンバーワンシェアを維持しました。システムは210億円、その他は163億円となりました。

損益につきましては、コンシューマは110億円の営業利益となりました。時計や電子辞書は引き続き高収益性を維持し、デジタルカメラも改善しました。システムは3億円の営業損失、その他は1億円の営業損失となりました。この結果、調整後の連結合計として営業利益80億円、経常利益73億円、四半期純利益43億円の大幅な増益となりました。

業績ハイライト

科目	第2四半期連結累計期間	
	2012年度	2011年度
経営成績		
売上高 (百万円)	144,516	150,202
営業利益 (百万円)	8,066	3,163
経常利益 (百万円)	7,317	2,466
四半期純利益 (百万円)	4,357	907
1株当たり四半期純利益 (円)	16.21	3.37

売上高の地域別構成比



売上高のセグメント別構成比

その他

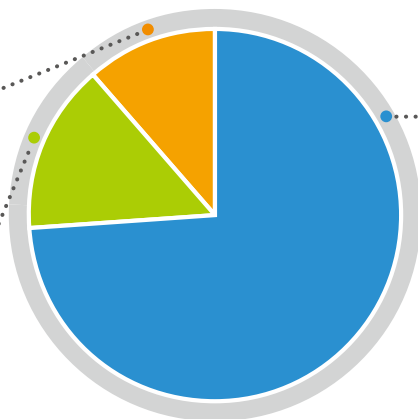
11.3% 売上高
16,369百万円

金型等

システム

14.6% 売上高
21,049百万円

ハンディターミナル、電子レジスター、
オフィス・コンピューター、ページプリンタ、
データプロジェクター等



コンシューマ

74.1% 売上高
107,098百万円

ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、
電子文具、電子楽器、デジタルカメラ等

合計 **144,516** 百万円

通期の業績見通し

現時点での2013年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想(2012年5月11日公表)に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を活かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

2012年度通期業績見通し(連結)

売上高	3,200 億円	(前期比 +6.1%)
営業利益	200 億円	(前期比 +120.6%)
経常利益	170 億円	(前期比 +143.6%)
当期純利益	100 億円	(前期比 +291.2%)